

第31回 全国鉄筋工事業協会青年部連絡会議の報告

日頃より青年部活動への多大なるご理解、ご支援ありがとうございます。

令和4年11月11日、第31回となる(公社)全国鉄筋工事業協会青年部連絡会議を青森県八戸市、「八戸プラザアーバンホール」を会場に開催いたしました。開催にあたり、岩田会長にはリモートで参加、挨拶を頂き、会場には飯島専務理事、熊谷担当理事、神開催県理事長にご出席いただき、盛大に開催出来ました事をお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの流行に伴い、中止、縮小開催を余儀なくされてきた青年部連絡会議でしたが、今回はコロナ対策を万全にしたフルスペックでの開催となり、119名の現地参加者、41名のWEB参加者と総数160名、また会場ロビーには、建ロボテック(株)様、東洋建設工機(株)様、マックス(株)様、(有)ピーシーエス様、(株)京都スペース様のブースを設け、久々に熱気あふれる会議となりました。

今回の会議も「魅力ある産業」「誇りある仕事へ」をテーマに二部構成とし、事例発表、講演、製品・制度紹介、アンケートと多彩に富んだ会議となりました。第一部の有給休暇に関する見直し



り事例の発表では、実際に有給休暇にかかる費用の計算例を元に、我々が取り組むべき課題を明確に説明していただき、有給休暇を正しく理解し、いかにして労働環境の改善と経営とのバランスをとっていくか、そして、建設業の働き方改革に対応していくかと改めて考えさせられる事例発表となりました。次に、まず一つ目の講演『東日本大震災の現状と原発について』では、前回東北地区で青年部連絡会議が開催されたのが、震災の翌年ということもあり、11年経った現状の報告と廃炉に向けて工事が進んでいる福島第一原子力発電所での作業について、実際に工事で係る当事者としてお話をいただき、苦労や苦悩を知る機会となりました。二つ目の講演『不況に負けない企業になるために!』では、証券会社目線での日本の現状、企業に求められるもの、そしてこれからの日本についてお話をいただき、知識を深めることができました。

最後に、開催にあたりご尽力いただきました東北地区青年部の皆様、開催県組合の皆様へ感謝の意と、更なる業界の発展をご祈念いたしまして青年部連絡会議の報告とさせていただきます。

青年部代表幹事 武田 英雄

そして最後の講演『BIM、CIMこれから必要になる理由』は、前年度に引き続いての講演となりましたが、やはり私たちは今後業界のトレンドとなっていく事柄に対し、このような機会に接し見聞を深め、そして気たるべき時に備えていかなければならないのだと実感いたしました。足早に進んだ3時間弱の会議の中で、参加していただいた皆様に、何か一つでも持ち帰っていただき、それぞれの企業の発展、更には業界の発展に役立てていただければ幸いです。懇親会の挨拶で、開催県青年部佐藤青年部長が『新しく入った青年部員にこの全



全鉄筋の「特定技能2号」初認定

 ZHANG CHAO FENG (中国) 2号認定日 2022年11月25日 所属機関 マツダスタール株式会社	 DANG VAN QUYET (ベトナム) 2号認定日 2022年11月29日 所属機関 株式会社中铁	 VU DINH PHU (ベトナム) 2号認定日 2022年11月29日 所属機関 株式会社中铁
--	--	---

令和4年 秋の叙勲

『旭日双光章』

★(公社)全国鉄筋工事業協会 前 理 事
(一社)大阪府建団連 前 理 事
関西鉄筋工業協同組合 前 理 事
関西鉄筋工業協同組合 前副理事長
★株式会社戸田鉄筋 代表取締役

戸田 裕雄 様




組合紹介

秋田県鉄筋工事業協同組合

秋田県の面積は東西約70km南北約170km、面積は11・638km²と全国6番目の大きさで、2022FIFAワールドカップの開催国である中東カタールとほぼ同じ大きさです。人口は2022年10月現在で929,000人と減少に歯止めが掛らない一方で、洋上風力が非常に増え秋田市から男鹿市に向かう沿岸道路では道路左右に見事なほどの風力発電の風景を見る事が出来ます。地域的には大きく東北、中央、南の3地域に分かれ、冬場の雪の量も地域により大幅な違いもあり現場での影響も様々です。

東北…きりたんぼ、秋田犬、白神山中央…石焼鍋、なまはげ、竿灯
関東…稲庭うどん、いぶりガッコ、大曲花火、かまくら、乳頭温泉
他にも色々有りますので是非一度足を運んでみては!!

組合員数は19社で、1社10名未満の労働者の事業所が多い為、ある程度の結束力を駆使して数社で現場をこなしている状況です。また、秋田県は全国平均より約15%低い収入である事が問題ともなっており、少しでも全国平均に近づける様にしなければ、建設業界だけではなく、働き手が確保出来ない課題が県全体に広がっております。

それには、急速な対応を求められ、職場の環境改善と賃金アップが必要不可欠です。建設業界では突発的な大型現場に対応出来ない問題も抱えているので、そんな時の為にも全国の仲間と繋がりを作り、県内外との結束力を高める為の活動を続け、一時的なパンク状態を出来るだけ軽減したいと考えています。特に東北日本海側は仕事量の波が激しく、大幅に職人を増やすのも、実習生の受け入れも、非常に考えさせられる難問です。

子供がやりたいと思う仕事にしなければ、若者がやりたいと思うわけが無いと思います。

今後は全国会議などに積極的に参加し、同志の良い刺激とパワーを吸収し、若者と自分の子供が入社したいと思われれる業界作りに、会員一同頑張ります。

令和4年度 顕彰

顕彰制度は、平成4年度より、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を「優秀施工者国土交通大臣顕彰」として表彰し、建設産業の第一線でものづくりに従事する人たちの、社会的地位・評価の向上を図るのを目的として創設されました。

建設マスターは、現場経験20年以上で優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成にも貢献した技能者から選ばれ、今回で31回目となり受賞者総数は1万1953人に達しました。

建設ジュニアマスターは、現場経験10年以上の39歳以下の技能者を対象とし、今後さらなる活躍が期待される青年技能者を顕彰することで、次世代の担い手の確保・育成に役立てることを目的に創設され、今回で8回目となり受賞者総数は、計861人となりました。

全鉄筋令和4年度

建設マスター受賞者9名

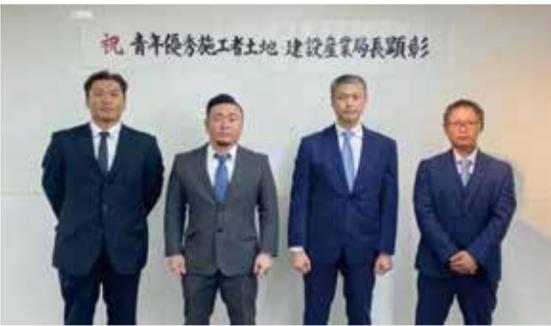
- 桑原昇様 (島根県鉄筋工事業協同組合)、高波夏樹様 (千葉県鉄筋業協同組合)、山内雄一様 (愛媛県鉄筋業協同組合)、篠原正和様 (熊本県鉄筋工事業協同組合)、森田純一様 (茨城県鉄筋業協同組合)、船橋卓実様 (協同組合東京鉄筋工業協会)、兵頭進様 (三重県鉄筋工事組合)、立野匡昭様 (静岡県鉄筋業協同組合)、平本大介様 (長崎県鉄筋工事業協同組合)。

全鉄筋令和4年度

ジュニアマスター受賞者3名

- 佐々木祐太様 (岩手県鉄筋業協会)、村栄二様 (富山県鉄筋工事業協同組合)、和田浩茂様 (関西鉄筋工業協同組合)。

全鉄筋令和4年度 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰



左から佐々木裕太様 和田浩茂様 岩田会長 布村栄二様

令和4年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰



左から森田純一様 高波夏樹様 桑原昇様 兵頭進様 岩田会長 立野匡昭様 篠原正和様 山内雄一様 船橋卓実様

全鉄筋外推薦



古山 良様 (東京都鉄筋業協同組合)

各地区広報活動報告

静岡県鉄筋業協同組合

静岡県鉄筋業協同組合では4つの学校、施設、地域イベントで出前講座や広報を行っています。

駿府学園、静岡県立科学技術高等学校、静岡県立掛川工業高等学校、静岡建設フェスです。

静岡県組合が初めて出前講座を行ったのは少年院、駿府学園でした。当初はどのようにして鉄筋業界、建設業の魅力を伝えていけばよいのか、色々な事を考えながら理事会や青年部会で話し合った事を思い出します。

試行錯誤を重ね、今では午前中に座学を1時間程度行い、その後実技講習を行うカリキュラムとなりました。

生徒たちは、我々の講義を卒業するまでに2回~6回受けることになっていますが、ずっと同じ内容の講義を聞いているのでは生徒たちも飽きてしまいます。特に座学に関しては内容を少しでも変えて生徒たちが楽しんで聞いてくれるよう工夫が必要です。

そのためには私たち組合員も日々勉強が必要になることは言うまでもない事です。

この取り組みも気づけば10年の月日が経ちました。(2012.2月駿府学園)

組合行事も10年続くイベントはなかなかないと思います。組合員全員で力を合わせ20年目を目指します。



長崎県鉄筋工事業協同組合

令和4年度の「ものづくりマイスター」出前講座を「長崎県職業能力開発協会」からの依頼を受け、9月23日、10月8日は長崎県立佐世保工業高等学校土木科1年生・2年生11名に組立実技講習を行いました。佐世保工業高等学校は放課後鉄筋クラブが昨年発足され、当時は2年生4名で結束の練習から行い、検定3級合格を目標に頑張った生徒も無事合格しました。今年はクラブ紹介で11名の部員が入り、内1名は女子生徒ですが男子生徒に負けないスピードで、組立を頑張っていました。

11月24日は長崎県立鹿町工業高等学校土木技術科2年生18名も同じく組立実技講習を行いました。こちらも内、1名の女子生徒が男子生徒に負けない組立作業を頑張りました。

鹿町工業高等学校は事業の一環として、3時間目から6時間目の時間を毎年「鉄筋の実技時間」として開催しています。

工業高校土木系に女子生徒は珍しく、男子生徒に劣ることのない姿勢に微笑ましく思いました。

最近では「土木女子」「建設女子」と言われる言葉もあるように、建設業の現場で働く女性が増えています。その一人として、頑張ってくれたらとも思いました。

毎年実施している出前講座ではありますが、今後も積極的に参画し指導する側として鉄筋工事の魅力を若い世代に伝えていきたいと思っています。



トピックス

CCUS「鉄筋事業の見える化評価」の申請受付開始について

全鉄筋ホームページトップの「鉄筋事業の施工能力等見える化評価基準」、又は「技能者教育・評価/鉄筋事業の施工能力等見える化評価」からスタート



全鉄筋会員企業はこちらから



評価申請の流れ

- 1 CCUS帳票を取得
2 CCUS帳票の取り込み・申請書の入力
3 評価申請書の確認・申請
4 お支払い【会員企業向けキャンペーン参照】
5 通知書のダウンロード

国土交通省主導による「専門工事業の見える化評価」に伴い、全鉄筋では、Web（全鉄筋ホームページ）から「鉄筋工事業の施工能力等見える化評価」の公開を独自システム上で実施する評価申請受付を開始します。

評価申請受付開始：2023年1月10日（火）【ホームページ掲載日】



↓早期登録キャンペーンを実施しますので、ご活用ください 全鉄筋会員企業向けキャンペーンについて

- 実施期間：令和5年1月10日～令和5年12月28日
①2023年1月10日～2023年6月30日（～17:00）申請
→初回申請手数料が無料
②2023年6月30日（18:00～）～2023年12月28日（～17:00）申請
→初回申請手数料が10,000円

対象：全鉄筋会員企業の初回申請手数料
■会員企業はシステムが自動判定しますが、判定されない場合はご連絡ください。
■更新の申請は、所定の手数料となりますので、ご注意ください。

Table with columns: 所定の手数料, 区分, 初回申請手数料(税別), 更新申請手数料(税別). Rows for 会員 and 非会員.

全国女性技能者懇談会 開催について

懇談会：つながろう女性鉄筋工の和
日時：令和5年2月17日（金）15:00～
場所：関西鉄筋工業協同組合 会議室

令和3年度は2022年1月20日に「女性技能者の全国Web懇談会」を開催しましたが、参加者から集まって懇談したかったとの意見がありましたので、コロナ感染予防対策をしっかりと行った上で一堂に会します。

- 編集委員 委員長 副委員長
岑直樹 宮本裕子 木浪裕子 松本裕子 工藤裕子 松本裕子 田浦真一

編集後記
外国人実習生が3年終了し4年目に日本人同等の給料に上がりました。契約は1年ごとに50000円のアップです。そこでふと思ったのはここ30年日本人の給料は上がっていないということ。失われた30年と言われているから5年は経っているよな気がします。
平均賃金の水準ではG7（先進7か国）内イタリアと最下位を争い2015年には韓国に抜かれ差が開く一方です。日本の平均賃金は1990年初頭には、アメリカに次いで2番目の水準だったのに現在は下から2番目。シングルマザーの相対的貧困でいえば突出して高くワースト1位です。貧しいシングルマザーは安いニッポンの象徴的存在といえます。賃金がダントツに低いことを証明しているからです。
ほとんどの国で平均賃金が上昇しているにもかかわらず日本だけ横ばい：ジャパンアズナンバワンはもはや遠い昔：外国人実習生も日本を選ばなくなってきました。韓国やヨーロッパ、行ける所は沢山あります。逆にはや選ばれる国ではありません。逆に日本の若者が外国に出稼ぎに出ています。賃金の安い自国に見切りをつけて他国へと渡って行きます。いつからか日本は安い国に成り下がってしまった。
数年前に言われていた外国人材を活用して人手不足の解消をすべき、は東京オリンピックで終わりを告げたのかもしれない。若年労働者も見込めない、外国人実習生からも選ばれない、私たちの業界はこれから何をしなければならぬのか各委員会で深く深く議論が必要だと思っています。
木浪裕子